

## 令和4年度事業報告

昨年度は、新型コロナウイルスの感染者が減少してきたので、第37回全国大会を万全の感染対策を行い、5月27日(金)に自由民主党本部の定員540名の8F大ホールに、ソーシャルディスタンスを考慮し、参加者150名に限定して開催した。

大会は新型コロナウイルスの感染対策として、来賓は自由民主党を代表して1名とし、高市早苗・政務調査会長を予定していたが、急遽、党務が入り、古屋圭司・政務調査会長代行があいさつされた。

記念講演では、(一社)LGBT理解増進会の繁内幸治・代表理事から、「性的マイノリティとは」—LGBT理解増進法の必要性について—のテーマでお話しされた。

11月に毎年実施している幹部研修会と定期中央省庁要請行動は、11月29日(火)に予定していたが、新型コロナウイルスの感染状況が悪化し、中央本部が定める事業実施の感染者数の目安を大きく上回ったことで中止した。

なお、定期中央省庁要請行動での「同和問題の早期完全解決に向けた要望書」は関係省庁へ提出した。

その他、大阪で開催している各種会議は、令和5年3月に行った総務委員会以外はすべて中止したことを報告し、令和4年度の事業報告にする。

月別事業報告については、大半の事業を中止したこともあり省略する。